

国勢調査活用プロジェクト公開学習会（第1回）

## 漁業従事者の義務教育未修了問題

2020年度の国勢調査は、画期的な意味をもちます。夜間中学関係者からの長年の要望が結実して、今回から「小学校卒」の選択肢が新設されたのです。「未就学者」94,455人、「小学校卒」804,293人。このデータを用いて、何ができるのか。基礎教育のニーズを把握するための最重要資料であるだけに、多角的な検討が待たれます。そこで、基礎教育保障学会では、国勢調査活用プロジェクトを立ち上げることにしました。学習会は公開とし、対面参加を原則としつつも、ZOOMによるハイブリッド開催で行います。

第1回の公開学習会のテーマは、漁業従事者の義務教育未修了問題としました。夜間中学には、漁村出身者の生徒が少なくないことを現場は経験的に掴んでいました。江口さんは、漁村社会が不就学を抱えやすい構造にあること、その中で夜間中学はどのような教育実践を行ってきたのかを歴史研究で明らかにしました。碓井さんは、国勢調査データを用いて統計的にそのことの実証を試みます。お二人の報告から国勢調査を活用することで、研究の深まりや広がりを実感してもらえんと思います。参加費無料。

【日時】 2023年5月7日（日）13:30～15:30

【会場】 福岡大学 10号館1012教室（予定） ZOOMでの参加も可能

\*参加申込いただいた方には、開催3日前にミーティング情報をお送りします。

\*申込申込いただいた方には、開催3日前に資料の収納 URL をお伝えします。

対面参加の場合も、各自印刷してご持参ください。当日会場での配布はありません。

### 【報告者】

江口怜さん（和歌山信愛大学）

「漁村の不就学・長期欠席問題を考える—1950～60年代の夜間中学の事例を中心に」

碓井健寛さん（創価大学）

「国勢調査を用いて量的にも質的にも視覚化する—漁業従事者の分布を手がかりに」

### 【コメンテーター】

上杉孝實さん（京都大学名誉教授）

工藤慶一さん（北海道に夜間中学をつくる会共同代表）



【司会】添田祥史さん（福岡大学）

【申込方法】 4月末までに右上の QR コードの申込フォームからお願いします。

わからない場合は、メールでも受け付けます。[soe@cis.fukuoka-u.ac.jp](mailto:soe@cis.fukuoka-u.ac.jp)（添田）